

更新研修（実務経験者2回目以降） 研修カリキュラム

| 科目名 | カリキュラムの要約 | 時間数 |
|-----------------------------|---|----------------|
| ○介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開 | 介護保険制度の最新の動向、地域包括ケアシステムの構築や地域共生社会の実現に向けた現状の取組を理解した上で、今後の地域包括ケアシステムの展開における介護支援専門員としての関わりを理解する。 また、地域包括ケアシステムの中で、利用者及びその家族を支援していくに当たって、関連する制度等を理解する。 | 講義 3 時間 |
| ○ケアマネジメントの実践における倫理 | 高齢者の権利を擁護する上で必要な制度等に関する動向を確認するとともに、ケアマネジメントを実践する上で感じた倫理的な課題の振り返りを行い、実践のあり方の見直しを行う。 | 講義 2 時間 |
| ○リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解 | リハビリテーションや福祉用具等を活用するに当たっての知識や関連職種との連携方法、インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントについて理解する。 | 講義 2 時間 |
| ○ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 | | |
| ・生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント | 「適切なケアマネジメント手法」の「基本ケア」の内容を踏まえたアセスメントや居宅サービス計画等の作成ができ、他の事例にも対応できる知識・技術を修得する。 | 講義及び演習 2 時間 |
| ・脳血管疾患のある方のケアマネジメント | 脳血管疾患の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。 また、「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（脳血管疾患がある方のケア）」の内容を踏まえたアセスメントや居宅サービス計画等の作成ができ、他の事例にも対応できる知識・技術を修得する。 | 講義及び演習 3 時間 |
| ・認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント | 認知症の特徴や療養上の留意点、起こりやすい課題の理解を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。また、「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（認知症がある方のケア）」の内容を踏まえたアセスメントや居宅サービス計画等の作成ができ、他の事例にも対応できる知識・技術を修得する。 | 講義及び演習 4 時間 |
| ・大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント | 大腿骨頸部骨折の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。 また、「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（大腿骨頸部骨折がある方のケア）」の内容を踏まえたアセスメントや居宅サービス計画等の作成ができ、他の事例にも対応できる知識・技術を修得する。 | 講義及び演習 3 時間 |

| | | |
|--|--|-----------------------|
| <p>・心疾患のある方のケアマネジメント</p> | <p>心不全につながる心疾患の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。</p> <p>また、「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（心疾患がある方のケア）」の内容を踏まえたアセスメントや居宅サービス計画等の作成ができ、他の事例にも対応できる知識・技術を修得する。</p> | <p>講義及び演習 3時間</p> |
| <p>・誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント</p> | <p>誤嚥性肺炎の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。</p> <p>また、「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア（誤嚥性肺炎の予防のためのケア）」の内容を踏まえたアセスメントや居宅サービス計画等の作成ができ、他の事例にも対応できる知識・技術を修得する。</p> | <p>講義及び演習 3時間</p> |
| <p>・看取り等における看護サービスの活用に関する事例</p> | <p>看護サービスの活用が必要な事例を用いて講義・演習を行うことにより、看護サービスの活用に係る知識及び効果的なケアマネジメント手法を修得する。</p> <p>また、演習等で得られた看護サービスの活用に係る示唆、留意点等を踏まえ、他の事例にも対応することができる知識・技術を修得する。</p> | <p>講義及び演習 3時間</p> |
| <p>・家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント</p> | <p>家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例の特徴、関連する施策の内容や動向、対応する際の留意点を踏まえたケアマネジメント手法を修得する。</p> <p>また、演習等で得られた家族への支援や他法他制度の活用に係る示唆、留意点等を踏まえ、他の事例にも対応することができる知識・技術を修得する。</p> | <p>講義及び演習 4時間</p> |